

【別添1】

整備計画書

|                           |   |  |  |         |   |  |
|---------------------------|---|--|--|---------|---|--|
| 代表事業者<br>(設備所有者・目標保有者) ※1 | 法人  | 法人名  | ××リース株式会社  |         |   |  |
|                           |   | 法人番号(13桁、半角)   | 1234567890123  |         |   |  |
|                           |   | 法人所在地  | 〒110-0000 東京都千代田区...   |         |   |  |
|                           |   | 主な業務内容   | リース・クレジット業   |         |   |  |
|                           | 事業実施責任者   | 部署   | 東京支店   | }       | 事業実施責任者は「様式1応募申請書」の代表者と同一とすること。<br>事業実施責任者は、当該法人等の決裁者であれば、事業場もしくは工場の代表者等であっても可。<br>(本事業への参加に関して、全ての責任を負うことを理解した上で設定すること。) |  |
|                           |   | 役職   | 支店長  |         |   |  |
|                           |   | 氏名   | ×× 一郎  |         |   |  |
|                           | 経理責任者   | 部署   | 経理部  |         |   |  |
|                           |   | 役職   | 部長   |         |   |  |
|                           |   | 氏名   | ×× 二郎  |         |   |  |
|                           | 代表事業者の事務連絡先 ※2  | 区分   | <input checked="" type="checkbox"/> 代表事業者 <input type="checkbox"/> 事務代行者 |         |   |  |
|                           |   | 法人名  | ××リース株式会社  |         |   |  |
|                           |   | 部署   | 経理部  |         |   |  |
| 役職                        |   | 経理係長   |  |         |   |  |
| 氏名                        |   | ×× 三郎  |  |         |   |  |
| 勤務先住所                     |   | 〒110-0000 東京都千代田区...   |  |         |   |  |
| 電話番号                      |   | 03-1234-xxxx   |  |         |   |  |
| E-mail                    | saburo@xxx.co.jp  |  |  |         |   |  |
| 共同事業者<br>(目標保有者) ※3       | 法人  | 事業実施責任者  |  |         |   |  |
|                           |   | 法人番号(13桁、半角)   | 氏名   | 所属部署・役職 | 電話番号  |  |
|                           |   | 〇〇株式会社<br>2345678901234  | 〇〇 四郎  | 代表取締役   | 03-5978-xxxx  |  |
|                           |   |  |  |         |   |  |
|                           |   |  |  |         |   |  |
|                           | 共同事業者の事務連絡先 ※4  | 区分   | <input checked="" type="checkbox"/> 共同事業者 <input type="checkbox"/> 事務代行者 |         |   |  |
|                           |   | 法人名  | 〇〇株式会社   |         |   |  |
|                           |   | 部署   | 生産管理部  |         |   |  |
|                           |   | 役職   | 設備課課長  |         |   |  |
|                           |   | 氏名   | 〇〇 五郎  |         |   |  |
| 勤務先住所                     | 〒160-0000 東京都新宿区...   |  |  |         |   |  |
| 電話番号                      | 03-4321-0000  |  |  |         |   |  |
| E-mail                    | goro@ooo.co.jp  |  |  |         |   |  |
| 削減協力者 ※5                  | 法人名   |  |  |         |   |  |
| 補助事業の概要                   | 事業の実施場所 ※6  | 事業場・工場名  | 〇〇株式会社△△工場   |         |   |  |
|                           |   | 施設の所有者   | 〇〇株式会社   |         |   |  |
|                           |   | 法人番号(13桁、半角)   | 2345678901234  |         |   |  |
|                           |   | 事業場・工場住所   | 〒336-0000 埼玉県さいたま市...  |         |   |  |
|                           | 事業実施場所の主な業務内容   | 食料品製造業   |  |         |   |  |
|                           | 参加形態  | <input checked="" type="checkbox"/> 単独参加 <input type="checkbox"/> グループ参加 |  |         |   |  |
| 事業形態 ※7                   | <input type="checkbox"/> 事業場 <input checked="" type="checkbox"/> 工場       |  |  |         |   |  |
| 単・複数年度                    | <input checked="" type="checkbox"/> 単年度事業 <input type="checkbox"/> 複数年度事業 |  |  |         |   |  |

注：記載にあたっては、「ASSET 実施ルール」を参照すること。また、記入欄が少ない場合は、本様式を引き伸ばして使用すること。

※1 代表事業者は、補助対象の設備を保有し、補助金の交付を受ける法人とする。

※2 代表事業者の事務連絡先は、代表事業者、あるいは代表事業者からの委任を受けた第3者である事務代行者の窓口となる担当者情報について記載する。

※3 テナント、工場内で事業を行う者が代表事業者(目標保有者)として参加する場合には、当該建物や工場の所有者が共同事業者(目標保有者)として参加していること。

※4 共同事業者の事務連絡先は、共同事業者のいずれかの法人、あるいは代表事業者及び共同事業者からの委任を受けた第3者である事務代行者の窓口となる担当者情報について記載する。

※5 削減協力者は、代表事業者及び共同事業者以外に、削減事業に協力する法人(テナント、工場内で事業を行う者等)とする。(任意)

テナント、工場内で事業を行う者等が目標保有者として参加する場合、本様式においては共同事業者として記載する。

フランチャイズチェーン(特定連鎖化事業者)の加盟店オーナーは、原則として共同事業者ではなく削減協力者として記載する。

※6 グループ参加の場合、事業の実施場所は「〇〇ビル、△△ビル、□□ビル」のように参加事業場名または工場名をすべて記載する。

住所は代表的な事業所を記載する。

※7 事業場と工場両方が含まれる場合には、より排出量の多い方を選択する。

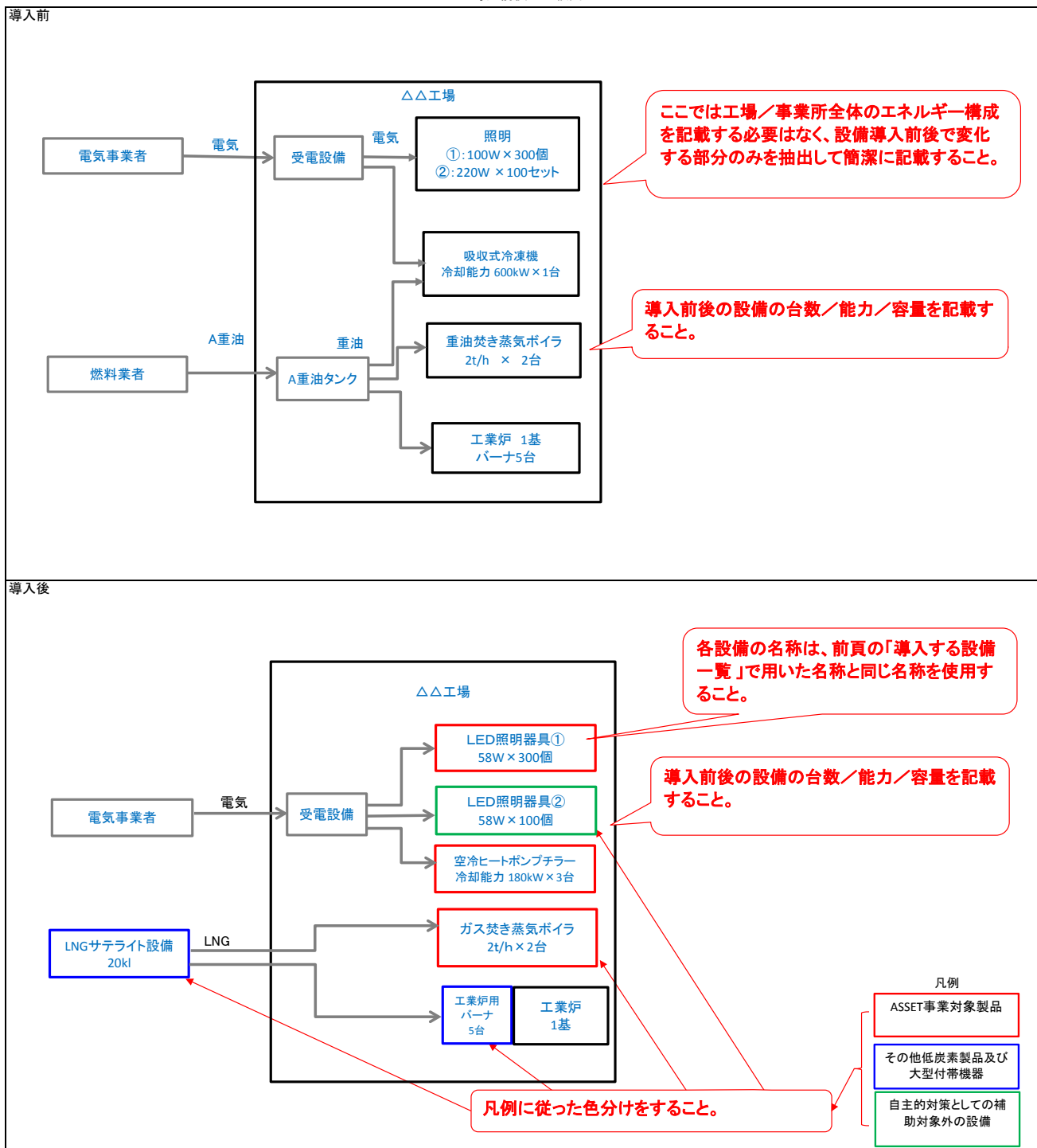
|                         |   |                                     |   |  |
|-------------------------|---|-------------------------------------|---|--|
| 事業名                     | △△工場におけるヒートポンプチャラーおよびガス焼き蒸気ボイラ等導入によるCO2削減事業   |                                     |   |  |
| 事業期間                    | 交付決定の日 2020年 2月 29日 事業完了 (2019年度)   |                                     |   |  |
| 基準年度CO2排出量<br>※1, 2     | 3,500   | 3,200                               | 3,300                                     | 3,333                                    |
|                         | tCO2(2016年度(平成28年度))  | tCO2(2017年度(平成29年度))                | tCO2(2018年度(平成30年度))                      | tCO2(基準年度排出量)                            |
| 削減効果                    | $927.8 + 109.3 = 1,037$   |                                     | $1,037 < \text{t-CO}_2$                   |  |
|                         | 先進対策によるCO2<br>排出削減目標量<br><t-CO2>-①  | 自主的対策によるCO2排<br>出削減目標量<br><t-CO2>-② | 自主的対策による排出削減目標比率<br>10.5 %                |  |
| ASSET事業対象製<br>品<br>導入比率 | $\frac{35,100,000}{38,500,000} \times 100 = 91.1$   | ASSET事業対象製品の<br>材料費※4<br><円>        |   |  |
|                         | 先進対策の材料費※<br>5<br><円>   |                                     | <%>                                       |  |
| 補助の費用効率性                | 補助金申請額 ※6   | 36,788,000                          | 円 補助対象経費 ※6                               | 83,420,000 円-③                           |
|                         | $83,420,000 \div \left( \frac{927.8}{36,788,000} + \frac{109.3}{83,420,000} \right) \times 100 = 12.00$ | $12.00 \times 6,702 = 6,702$        |   |  |
|                         | 補助対象経費<br><円>-③   | 先進対策によるCO2<br>排出削減目標量<br><t-CO2>-①  | 自主的対策によるCO2排<br>出削減目標量<br><t-CO2>-②<br>※7 | 補助対象設備の法定<br>耐用年数<年数><br>※8<br><円/t-CO2> |

- ※1 基準年度排出量の算定については、「ASSET 実施ルール」を参照すること。
  - ※2 基準年度は平成28年度～平成30年度の3年間平均を原則とするが、固有の事情により例外を認めることもあり得る。
  - ※3 排出削減目標量の算定については、「ASSET 実施ルール」を参照すること。  
この計画書に記載の排出削減目標量の数値自体は、本計画書の提出以降変更することができない。
  - ※4 ASSET事業対象製品の本体および直属機器の材料費
  - ※5 ASSET事業対象製品とその他低炭素製品の本体および直属機器の材料費
  - ※6 複数年度事業は、2年間の総額を記載すること。
  - ※7 自主的対策によるCO2排出削減目標量は、先進対策によるCO2排出削減目標量を超えない範囲とする。超えた場合は先進対策と同じ値とする。
  - ※8 補助対象設備の法定耐用年数は、設備が複数ある場合は単純平均又はCO2削減効果による加重平均を用いること。
- 注 数値は、CO2削減目標量は小数点第1位、設備の法定耐用年数は小数点第2位、CO2基準年排出量と金額は整数で記載すること。

| 導入する設備一覧 |                          |  |
|----------|--------------------------|--|
| 区分       | 設備名 ※1、※2                | 製品名 ※3   |
| 補助対象設備   | ASSET事業対象製品              | 空冷ヒートポンプチャラー<br>LED照明器具①<br>ガス焼き蒸気ボイラ                                  |
|          | その他低炭素製品<br>及び<br>大型付帯機器 | ユニバーサルスマートX(エックス)<br>LED ライトユニット型ベースライト Myシリーズ[パネルタイプ]<br>蒸気ボイラ(貫流ボイラ) |
|          | 自主的対策としての補助対象外の設備        | 工業炉用バーナ<br>LNGサテライト設備<br>LED照明器具②                                      |

- 注：記入欄が少ない場合は、適宜欄を増やして使用すること。
- ※1 ここで記載する設備名は、全ての別添・別紙において同一のものとする。
- ※2 一つの製品名に一つの設備名を対応させること。
- ※3 ASSET事業対象製品のみL2-Tech認証製品一覧の製品名を記載すること。

導入前後の比較図

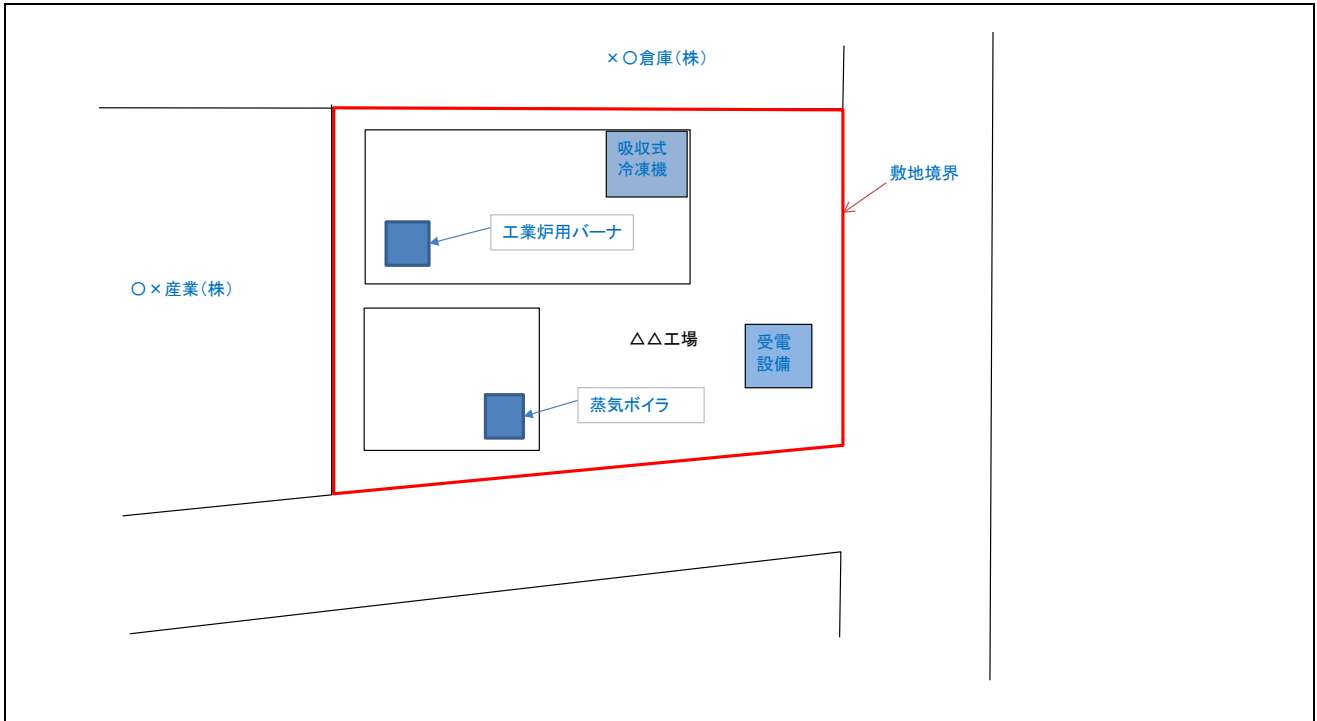


注1：CO2排出抑制設備の導入前後の比較ができるように、概略図を作成すること。

注2：導入前後の設備の台数／能力／容量を記載すること。

注3：グループ申請の場合、本ページをコピーして事業所・工場ごとに記載すること。

CO2排出量算定の敷地境界



敷地内における主な化石燃料燃焼設備(ボイラー等)、他社から供給を受けた電力・熱を使用する主な設備(※主な設備を箇条書きで記載)

1. 受電設備
2. A重油: 蒸気ボイラ、工業炉、吸収式冷凍機

**敷地境界を確認の上、忘れずにチェックを記入のこと**

敷地境界の確認 : 「ASSET実施ルール」に沿った敷地境界となっていることを確認したら□に✓のこと。

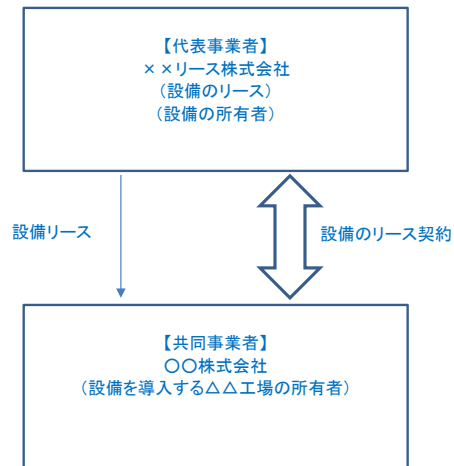
テナント、工場内で事業を行う者が代表事業者(目標保有者)として参加する場合には、当該建物や工場の所有者が共同事業者(目標保有者)として参加しているかどうか確認すること。

注1: 敷地境界については「ASSET実施ルール」を参照すること。

注2: グループ申請の場合、本ページをコピーして事業所・工場ごとに記載すること。

(複数事業者による共同申請の場合)各事業者の役割分担について

代表事業者及び共同事業者につき、各々の担当業務及び関係について図等を用いて記述のこと。



その他特記事項

【別添1別紙1】 事業実施場所の一覧(グループ)

別添4-2のとおり

注：グループ申請の場合、事業所・工場の一覧を記載する。別添4-2と同じ場合は「別添4-2のとおり」とし、特に記載不要。

他の補助事業の利用状況等について

| 年度     | 補助事業名     | 補助率 | 対象設備名              | 対象設備の2020年度CO2削減目標量 ※<br>(基準年度比) |
|--------|-----------|-----|--------------------|----------------------------------|
| 平成31年度 | 〇〇省〇〇補助金  | 1/3 | パッケージエアコン<br>(申請中) | 10t-CO2                          |
| 平成29年度 | 〇〇センター補助金 | 1/3 | 高効率給湯器             | 4t-CO2                           |
|        |           |     |                    |                                  |
|        |           |     |                    |                                  |
|        |           |     |                    |                                  |
|        |           |     |                    |                                  |

基準年度以前や、CO2削減に関係ない設備に関するものは記載不要。

- ※ CO2削減目標量は、複数年度事業(2カ年度)の場合、2021年度のCO2削減目標量を記載する。
- 注1 基準年度以降に取得した、もしくは取得予定(申請予定を含む)の補助金等につき漏れなく記載すること。
- 注2 詳細の分かる資料を添付すること。
- 注3 記入欄が足りない場合は、適宜行を追加等して記載。

法定耐用年数の根拠について

1.補助対象設備の法定耐用年数の根拠について

| No. | 設備名称          | 新規導入もしくは<br>既存設備改修の別 | 耐用年数省令(※1)別表上の項目名                      | 新規導入の場合<br>の耐用年数 | 既存設備改修の場合<br>の既存設備の<br>耐用残余年数 |
|-----|---------------|----------------------|--|------------------|-------------------------------|
| 1   | ヒートポンプチャラー(※) | 新規導入                 | 別表第一「建物附属設備」「冷房、暖房、通風又はボイラー設備」「その他のもの」 | 15年              |                               |
| 2   | LED照明器具(※)    | 新規導入                 | 別表第一の「建物附属設備」「電気設備(照明設備を含む。)」「その他のもの」  | 15年              |                               |
| 3   | ガス焼き蒸気ボイラ(※)  | 新規導入                 | 別表第二 機械及び装置の耐用年数表の「食料品製造業用設備」          | 10年              |                               |
| 4   | LNGサテライト設備    | 新規導入                 | 別表第1「構築物」「金属造のもの」「液化ガス用のもの」            | 10年              |                               |
| 5   | 工業炉用バーナ       | 既存設備改修               | 別表第二 機械及び装置の耐用年数表の「食料品製造業用設備」          | 10年              |                               |
| 6   |               |                      |  |                  |                               |
| 7   |               |                      |  |                  |                               |
| 8   |               |                      |  |                  |                               |
| 9   |               |                      |  |                  |                               |
| 10  |               |                      |  |                  |                               |

同じ設備でも用途によって、別表第一と別表第二のどちらを適用するべきかが変わる。  
生産設備は別表第二が適用される。

2.既存設備について、法定耐用年数の算出根拠

補助対象設備が複数ある場合は、ここで平均法定耐用年数を計算すること。(単純平均 or CO2排出削減効果による加重平均)

3.補助対象設備が複数に渡る場合、申請時に採用する法定耐用年数とその根拠(単純平均もしくはCO2排出削減効果による加重平均)

単純平均 (15+15+10+10+10)÷5=12.00年

単純平均の場合は、本表の項目数(設備の種類の数)を分母にすること。

注1 「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」(昭和四十年三月三十一日大蔵省令第十五号、最終改正：平成二九年三月三十一日財務省令第二九号)  
注2 記入欄が足りない場合は、適宜行を追加等して記載。



ASSET事業対象製品として導入されるL2-Tech認証製品

- ブルダウリストから選択する欄
- 記入欄

- 1 導入するL2-Tech認証製品を下表ピンク着色部でブルダウリストから選択定義すること
- 2 導入するL2-Tech認証製品について下表黄色着色部にL2-Tech認証製品一覧から詳細事項を転記すること
- 3 導入するL2-Tech認証製品が多数ある場合は、下記の表を適宜追加し、連番を左欄に記入すること
- 4 導入するL2-Tech認証製品の仕様書またはカタログを添付すること
- 5 導入するL2-Tech認証製品の、L2-Tech認証製品一覧における該当ページコピーをマーキングの上、添付すること
- 6 導入するL2-Tech認証製品の仕様書水準値がL2-Tech水準値を上回る場合は、L2-Tech水準欄には仕様書水準値を記入すること

|   |                                    |                            |                      |
|---|------------------------------------|----------------------------|----------------------|
| 1 | 区分(技術分類)                           | 熱源・空調機(ヒートポンプ・中央方式)□       |                      |
|   | 設備・機器等の名称                          | 空冷ヒートポンプデラー                |                      |
|   | クラス                                | 条件                         | 散水式                  |
|   |                                    | 能力                         | 160.0kW超             |
|   | L2tech水準                           | L2-Tech水準(または仕様書水準)        | 6.0                  |
|   |                                    | 測定単位(名称)                   | 期間成績係数(IPLV)         |
|   | 団体名(メーカー名)                         | 東芝キャリア株式会社                 |                      |
|   | 製品名                                | 空冷ヒートポンプ式熱源機(ス)            |                      |
|   | 型番                                 | RUA-UP511HFLN1             |                      |
|   | 2018年度L2-Tech認証製品一覧(PDF版)における記載ページ | 33/202                     |                      |
| 2 | 区分(技術分類)                           | 照明器具                       |                      |
|   | 設備・機器等の名称                          | LED照明器具                    |                      |
|   | クラス                                | 条件                         | ベースライト型(スクエア)        |
|   |                                    | 能力                         | 32W蛍光灯相当スクエアサイズ      |
|   | L2tech水準                           | L2-Tech水準(または仕様書水準)        | 172.8                |
|   |                                    | 測定単位(名称)                   | 固有エネルギー消費効率          |
|   | 団体名(メーカー名)                         | 三菱電機照明株式会社                 |                      |
|   | 製品名                                | LED照明器具 ライト Myシリーズ[パネルタイプ] |                      |
|   | 型番                                 | MYSC460100N/4 AHTX         |                      |
|   | 2018年度L2-Tech認証製品一覧(PDF版)における記載ページ | 96/202ページ                  |                      |
| 3 | 区分(技術分類)                           | ボイラ                        |                      |
|   | 設備・機器等の名称                          | 蒸気ボイラ(貫流ボイラ)               |                      |
|   | クラス                                | 条件                         | -                    |
|   |                                    | 能力                         | 1500kg/h以上3000kg/h未満 |
|   | L2tech水準                           | L2-Tech水準(または仕様書水準)        | 98                   |
|   |                                    | 測定単位(名称)                   | ボイラ効率                |
|   | 団体名(メーカー名)                         | 株式会社サムソン                   |                      |
|   | 製品名                                | 小型貫流ボイラ(SEシリーズ)            |                      |
|   | 型番                                 | SE-2000APG                 |                      |
|   | 2018年度L2-Tech認証製品一覧(PDF版)における記載ページ | 70/202ページ                  |                      |
| 4 | 区分(技術分類)                           |                            |                      |
|   | 設備・機器等の名称                          |                            |                      |
|   | クラス                                | 条件                         |                      |
|   |                                    | 能力                         |                      |
|   | L2tech水準                           | L2-Tech水準(または仕様書水準)        |                      |
|   |                                    | 測定単位(名称)                   |                      |
|   | 団体名(メーカー名)                         |                            |                      |
|   | 製品名                                |                            |                      |
|   | 型番                                 |                            |                      |
|   | 2018年度L2-Tech認証製品一覧(PDF版)における記載ページ |                            |                      |
| 5 | 区分(技術分類)                           |                            |                      |
|   | 設備・機器等の名称                          |                            |                      |
|   | クラス                                | 条件                         |                      |
|   |                                    | 能力                         |                      |
|   | L2tech水準                           | L2-Tech水準(または仕様書水準)        |                      |
|   |                                    | 測定単位(名称)                   |                      |
|   | 団体名(メーカー名)                         |                            |                      |
|   | 製品名                                |                            |                      |
|   | 型番                                 |                            |                      |
|   | 2018年度L2-Tech認証製品一覧(PDF版)における記載ページ |                            |                      |

注1 上から順にブルダウメニューで選択

注2 L2-Tech認証製品一覧から転記

注4 仕様書またはカタログを添付すること。  
注5 L2-Tech認証製品一覧の該当ページの  
コピー(該当製品マーキング)を添付すること。



| 測量及び試験費  | 2,000,000             | ガス焼き蒸気ボイラ(※)     | 800,000   | <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; color: red;">           本記号(※)を用いて<br/>ASSET事業対象製<br/>品を明示する。         </div> |          |
|--|-----------------------|------------------|---|---|----------|
| <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; color: red;">             (4)補助対象経費支<br/>出予定額に一致する。           </div>          |                       | LNG供給設備(付帯)      | 1,000,000   |   |          |
|  |                       | 工業炉用バーナ          | 200,000   |   |          |
|  |                       | (※): ASSET事業対象製品 |   |   |          |
| 合 計  | 83,420,000 円          |                  |   |   |          |
| 購入予定の主な財産の内訳(一品、一組又は一式の価格が50万円以上のもの)   |                       |                  |   |   |          |
| 名 称  | 仕 様                   | 数 量              | 単 価   | 金 額   | 購入予定時期   |
| 空冷ヒートポンプチャージ(※)  | 冷房能力180.0kW超 3台       | 1式               | 22,000,000  | 22,000,000  | 2019年11月 |
| LED照明器具①(※)  | スクエアタイプ LED (300台)    | 1式               | 12,730,000  | 12,730,000  | 2019年11月 |
| ガス焼き蒸気ボイラ(※)   | SE-2000APG (2000kg/h) | 1式               | 22,830,000  | 22,830,000  | 2020年11月 |
| LNG供給設備(付帯)  | 20kl 貯槽               | 1式               | 19,600,000  | 19,600,000  | 2020年11月 |
| 工業炉用バーナ  |                       | 1式               | 6,260,000   | 6,260,000   | 2020年11月 |
| <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; color: red;">             各設備名称は別添1の導入する設備一覧と同じ<br/>名称を用いること           </div> |                       |                  | <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; color: red;">             材料費のみではなく、労務費、共通仮設費等の全<br/>ての経費(含む付帯設備分)も加えた額とする。           </div> |   |          |

注1) 公募申請時は(5)基準額は記入不要で、(6)選定額には(4)補助対象経費支出額を記入する

注2) 複数年度事業は、2カ年度分を本シートに記載する。

【別添3】

2020年度の年間CO2排出削減目標量の内訳（注：複数年度事業の場合、2021年度の年間CO2排出削減目標量。以下同様）

|   |                          |                |                 |
|---|--------------------------|----------------|-----------------|
| ① | 2020年度のCO2排出削減目標量        |                | 1,037 (t-CO2/年) |
| ② | 先進対策による2020年度CO2排出削減目標量  |                | 927.8 (t-CO2/年) |
|   | 内訳                       | A: ASSET事業対象製品 | 810.1 (t-CO2/年) |
|   |                          | B: その他低炭素製品    | 117.7 (t-CO2/年) |
| ③ | 自主的対策による2020年度CO2排出削減目標量 |                | 109.3 (t-CO2/年) |
|   | 内訳                       | C: 補助対象外設備     | 19.3 (t-CO2/年)  |
|   |                          | D: 運用改善等       | 90.0 (t-CO2/年)  |

※①=②+③とする。

<補足説明記入欄>

「②先進対策による2020年度CO2排出削減目標量」について、具体的な算定方法を記述すること。  
 (設備効率の向上、使用するエネルギー種別と排出係数、設備の想定使用方法等、算定の根拠を記述。)  
 特に「A: ASSET事業対象製品」についてはその削減目標量の費用対効果等が分かるように、導入前後の設備・機器等の効率等の水準・エネルギー消費量等を記述すること。(灰色着色部は別添1別紙4にリンクしている為、別添1別紙4を先に記入すること)行が不足する場合には追加すること。

| No. | 設備・機器等の名称        | 製品名   | 型番                    | 導入台数 | 導入後設備水準(効率) | 単位                       | 導入前設備水準(効率) | 単位                       | 導入前設備         | 導入前燃料種別エネルギー使用量(年間) |        |     |    |        |     | 導入後燃料種別エネルギー使用量(年間) |         |     |  |  |  | 別添2添付補足資料No. |
|-----|------------------|---|-----------------------|------|-------------|--------------------------|-------------|--------------------------|---------------|---------------------|--------|-----|----|--------|-----|---------------------|---------|-----|--|--|--|--------------|
|     |                  |   |                       |      |             |                          |             |                          |               | 種別1                 |        | 種別2 |    | 種別1    |     | 種別2                 |         |     |  |  |  |              |
|     |                  |   |                       |      |             |                          |             |                          |               | 消費量                 | 単位     | 消費量 | 単位 | 消費量    | 単位  | 消費量                 | 単位      |     |  |  |  |              |
| 1   | 空冷ヒートポンプ<br>チラー  | 空冷ヒートポンプ式<br>熱源機「ユニバーサ<br>ルスマートX(エック<br>ス)」 | RUA-UP511HFLN1        | 3    | 6.0         | 期間<br>成績<br>係数<br>(IPLV) | 1.23        | 期間<br>成績<br>係数<br>(IPLV) | 吸収式冷<br>凍機    | A重油                 | 240    | kL  | 電気 | 128500 | kWh | 電気                  | 582,967 | kWh |  |  |  | 1            |
| 2   | LED照明器具          | LED照明器具 ライト<br>Myシリーズ[パネルタ<br>イプ]           | MYSC460100N/4<br>AHTX | 300  | 172.8       | 固有エ<br>ネルギ<br>ー効<br>率    |             |                          | 蛍光灯<br>(100W) | 電気                  | 58,880 | kWh |    |        |     | 電気                  | 30,458  | kWh |  |  |  | 2            |
| 3   | 蒸気ボイラ(貫流ボ<br>イラ) | 小型貫流ボイラ(SE<br>シリーズ)                         | SE-2000APG            | 2    | 98          | ボイ<br>ラ効<br>率            | 90          | ボイ<br>ラ効<br>率            | 油焚きボイ<br>ラ    | A重油                 | 398    | kL  |    |        |     | LNG                 | 261.7   | ton |  |  |  | 3            |
| 4   | 0                | 0   | 0                     | 0    | 0           | 0                        |             |                          |               |                     |        |     |    |        |     |                     |         |     |  |  |  |              |
| 5   | 0                | 0   | 0                     | 0    | 0           | 0                        |             |                          |               |                     |        |     |    |        |     |                     |         |     |  |  |  |              |
| 6   | 0                | 0   | 0                     | 0    | 0           | 0                        |             |                          |               |                     |        |     |    |        |     |                     |         |     |  |  |  |              |
| 7   | 0                | 0   | 0                     | 0    | 0           | 0                        |             |                          |               |                     |        |     |    |        |     |                     |         |     |  |  |  |              |
| 8   | 0                | 0   | 0                     | 0    | 0           | 0                        |             |                          |               |                     |        |     |    |        |     |                     |         |     |  |  |  |              |
| 9   | 0                | 0   | 0                     | 0    | 0           | 0                        |             |                          |               |                     |        |     |    |        |     |                     |         |     |  |  |  |              |
| 10  | 0                | 0   | 0                     | 0    | 0           | 0                        |             |                          |               |                     |        |     |    |        |     |                     |         |     |  |  |  |              |
|     | 0                | 0   | 0                     | 0    | 0           | 0                        |             |                          |               |                     |        |     |    |        |     |                     |         |     |  |  |  |              |

「別添2 添付補足資料」の設備名番号を記入し、本表の  
 設備・機器等と「別添2添付補足資料」に記載の経費の  
 対応が分かるように記載して下さい。

**A: ASSET事業対象製品**

**設備・機器等ごとの削減目標量の算定方法**

※設備・機器等ごとに、上表に記載した情報に基づき、削減目標量=導入前合計エネルギー消費量×[(導入後設備水準(効率)-導入前設備水準(効率))÷導入後設備水準(効率)]×排出係数の計算結果を以下に記載すること。導入前合計エネルギー消費量の把握方法(実測/推計)も記載すること。  
導入前後の機器効率の単位が異なるなど、この方法に依らない算定方法を採用する場合には、その理由と合わせて具体的方法を以下に記載すること。

(1) 吸収式冷凍機から空冷ヒートポンプチラーへの更新

<導入前>

吸収式冷凍機

A重油使用量: 240kL(2018年度実績より)

電力消費量(冷水ポンプ、冷却水ポンプ、冷却塔ファン・モータ、熱源機): 128,500kWh(2018年度実績より)

吸収式冷凍機 IPLV=1.23

<導入後>

空冷ヒートポンプチラー IPLV=6.0

・A重油発熱量: 39.1GJ/kL、A重油のCO2排出係数: 0.0693t-CO2/GJ、電気のCO2排出係数: 0.000496t-CO2/kWh

冷熱需要=240kL × 39.1GJ/kL × 1.23(-) × 1,000(MJ/GJ) ÷ 3.6(MJ/kWh) ÷ 6.0(-) = 534,367 (kWh)

冷水ポンプ消費電力 = 48,600 (kWh)

電力消費量(熱源機、冷水ポンプ) = 534,367 + 48,600 = 582,967 (kWh)

【削減目標量】= (240(kL) × 39.1(GJ/kL) × 0.0693(t-CO2/GJ) + [128,500(kWh) - 582,967(kWh)] × 0.000496(t-CO2/kWh)) = 424.9(t-CO2)

【記入例の解説】

上の表に記入したASSET事業対象製品の設備・機器等別に記載してください。

この記入例では、定格入力や定格効率から削減量を算定する例を記載していますが、実際の使用条件を想定した算定をしても構いません。

また、設備効率が定量的に定義されていない場合や、導入前設備がCOP、導入予定設備がAPFのように、設備効率の次元が異なり比例計算ができない場合は、どのような仮定を置いて削減目標量を算定したのかを記入してください。

(2) LED照明器具①更新によるCO2削減目標量

<導入前の照明>

蛍光灯(100W)、300個、 \* 導入前電気使用量=100(W) × 8(h) × 245(日) × 300 = 58,800 (kWh)

<導入予定の照明>

LED照明器具 ライト Myシリーズ[パネルタイプ]/MYSC460100N/4 AHT X LED照明(51.8W)、300個、 \* 導入後電気使用量=51.8(W) × 8(h) × 245(日) × 300 = 30,458 (kWh)

\* 電気使用量の削減=58,800-30,458 = 28,342 (kWh)

【削減目標量】 28,342 (kWh) × 0.000496(t-CO2/kWh) = 14.1(t-CO2)

(3) ボイラ更新によるCO2削減目標量

<導入前のボイラ>

・ A重油焚きボイラ2000kg/h、2台、年間重油使用量 398kL(実測値) 熱効率90%

<導入予定のボイラ>

・小型貫流ボイラ(SEシリーズ)/SE-2000APG、2台、2000kg/h 熱効率98%

① <A重油焚きボイラのCO2排出量>

2019年度のボイラ室における貫流ボイラの想定A重油使用量は約398kL(2018年度実績より)

・A重油発熱量: 39.1GJ/kL、

・A重油のCO2排出係数: 0.0693t-CO2/GJ

・A重油焚きボイラの年間CO2排出量: 398kL /年 × 39.1GJ/kL × 0.0693t-CO2/GJ = 1,078.4 t-CO2/年

② <LNG使用量の算出>

・A重油発熱量: 39.1GJ/kL、LNG発熱量: 54.6GJ/t

・ボイラの更新によるボイラ効率の向上: 90% → 98%

・LNGの使用量は 398kL /年 × 39.1/54.6 × (90/98) = 261.7 t/年

③ <LNG焚きボイラのCO2排出量>

・LNGのCO2排出係数: 0.0495(t-CO2/GJ)

・LNG焚きボイラの年間CO2排出量 = 261.7(t/年) × 54.6(GJ/t) × 0.0495(t-CO2/GJ) = 707.3(t-CO2/年)

④ボイラ更新によるCO2排出削減量

・CO2排出削減量 = 1078.4(t-CO2/年) - 707.3(t-CO2/年) = 371.1(t-CO2/年)

\* ASSET事業製品による削減目標量 = (1)空冷ヒートポンプチラー更新 + (2)照明更新 + (3)ボイラ更新  
= 424.9(t-CO2) + 14.1(t-CO2) + 371.1(t-CO2) = 810.1(t-CO2/年)

|   |   |
|---|---|
| B: その他低炭素製品   |   |
| 設備・機器ごとの削減目標量の算定方法<br>※設備・機器ごとに、A: ASSET事業対象製品 と同様に削減目標量の計算結果を以下に記載すること。  |   |
| <p>◎工業炉用バーナ改修によるCO2削減目標量</p> <p>&lt;改修前の工業炉用バーナ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>工業炉(A重油) 1基</li> <li>年間A重油使用量 152(kL)(実測値)</li> </ul> <p>&lt;改修後の工業炉&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>工業炉(LNG) 1基</li> </ul> <p>&lt;計算&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>改修前の入力熱量=152(kL)×39.1(GJ/kL)=5943.2(GJ)</li> <li>改修前のCO2排出量=5943.2(GJ)×0.0693(t-CO2/GJ)=411.9(t-CO2)</li> <li>改修後のCO2排出量=5943.2(GJ)×0.0495(t-CO2/GJ)=294.2(t-CO2)</li> </ul> <p>【削減目標量】=改修前のCO2排出量-改修後のCO2排出量=411.9(t-CO2)-294.2(t-CO2)=117.7(t-CO2)</p> | <p>[記入例の解説]</p> <p>L2-Tech認証製品以外の設備・機器等については、一覧の記入は不要ですが、削減目標量の算定方法について、L2-Tech認証製品と同様に、具体的に記入してください。</p> |

|   |   |
|---|---|
| 「③自主的対策による2020年度のCO2排出削減目標量」について、C: 補助対象外設備と、D: 運用改善等のそれぞれの具体的な算出方法を記述すること。   |   |
| C: 補助対象外設備  |   |
| 設備・機器ごとの削減目標量の算定方法<br>※設備・機器ごとに、A: ASSET事業対象製品 と同様に削減目標量の計算結果を以下に記載すること。  |   |
| <p>LED照明器具②</p> <p>&lt;導入前の照明&gt;</p> <p>蛍光灯(55W×4台×100(セット) * 導入前電気使用量=55×4(W)×12(h)×200(日)×100(セット) =52,800 (kWh)</p> <p>&lt;導入予定の照明&gt;</p> <p>LED照明器具 58(W)×100個、 * 導入後電気使用量=58(W)×12(h)×200(日)×100 = 13,920 (kWh)</p> <p>* 電気使用量の削減=52,800-13,920 = 38,880 (kWh)</p> <p>【削減目標量】 38,880 (kWh)×0.000496(t-CO2/kWh) =19.3 (t-CO2)</p> |   |
| D: 運用改善等  |   |
| 補助対象設備以外による排出削減努力、エネルギー使用設備の廃止、利用時間の短縮等、想定される要因について、要因ごとに可能な限り定量的に記述。   |   |
| <p>事業所全体の省エネ努力による削減 <u>90.0t-CO2</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) PCの省エネモード設定</li> <li>(2) こまめな消灯等</li> <li>(3) 空調の温度設定を変える。</li> </ul>   | <p>[記入例の解説]</p> <p>設備導入以外の取組(運用改善等)による削減目標量とその根拠を記入すること。<br/>根拠は必ずしも定量的でなくても良いが、どのような対策を予定しているかを記入すること。</p> |